

柏尾の風



横浜市立柏尾小学校

学校便り

7月号

令和8年6月15日

どんな仕事をしているのですか。

校長 鈴木 陽一

「校長先生は、どんな仕事をしているのですか。」「なぜ、校長先生になろうと思ったのですか。」「今までで大変だったことは何ですか。」「柏尾小学校がどんな学校になってほしいですか。」

先日、柏尾小学校にかかわっている大人の人が、どんな思いや考えで学校にかかわっているかを知ろうという6年生の国語「聞いて考えを深めよう」学習で、インタビューを受けました。(一昨年の学校だよりもこの学習について書きました。)私だけでなく、栄養教諭、事務職員、技術員なども参加し、それぞれのグループでインタビューが行われました。それぞれの仕事について、私が受けた質問と同じような内容の質問をされたようです。この学習は、インタビューの仕方の学習で、準備した質問からさらに話を聞きながら、話を広げたり深めたりする質問を生み出せるよう6年生は一生懸命考えながら聞き、話していました。さすが6年生、どのグループも話が盛り上がっていました。仕事に対する思いを引き出せていたのではないのでしょうか。この学習を通して、仕事(職業)についても理解や思いが広がり深まったと思います。

9月に、中学生が職業体験として、本校にも毎年何人か体験に来て、学級に入り、授業や生活を小学生と過ごします。教員という仕事に就きたい生徒やそうではないが興味のある生徒がやってきます。自分たちが小学生として通っていた時には知らなかったことに気づいたり、仕事の大変さを実感したりしたといつも振り返りで話してくれます。

このような職業体験は小学校にはないのですが、いろいろな職業(仕事)について、主に社会科で学ぶ場面があります。例を挙げると、3年生は、消防署・スーパー・パン工場の見学に行き働く人々の様子や工夫を学びます。消防署の見学は、町を守る人々の働きや仕組みを学びに行くのですが、消防士さんのかっこよさやすごさに感動して帰ってきます。4年生は、資源循環局に行き、資源のリサイクルやごみ処理の仕方を学び、自分たちの生活を振り返るとともにそこで働く人々の苦労や工夫に気づきます。5年生でも、自動車工場の見学で、自動車ができるまでのプロセスを学びながら働く人の工夫や苦労を学びます。6年生は、国会の見学などで、政治の仕組みを学ぶとともにそれらにかかわる人の存在を意識することになります。1・2年生は、生活科などで、学校や地域・公共施設で働く人々とかかわることで多くの場面や場所で人々が働き支え合っていることを学びます。このような経験を通して、いろいろな人に自分たちが支えられていることに気づき、世の中が一人ひとりの活動によって動いていることを感じてくれるのではないのでしょうか。このようなキャリア教育を通して、さまざまな職業があることを知り、興味を持つことで仕事の大切さやそこで働く人のすごさに気づく。そして、自分自身の将来の夢や職業などに少しでも結びついていくことを願っています。

地域の皆様・保護者の皆様には、子どもたちの安心・安全のために見守り等をしていただきありがとうございます。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。